

平成 24 年 9 月 5 日

社団法人 堺市薬剤師会  
尾島会長様

ベルランド総合病院 薬剤部  
星 育子

## 保険薬局研修会（平成 24 年 9 月 1 日開催）アンケート結果

### 1. アンケート回収率

参加人数	39 名
回収枚数	39 枚
回収率	100%

### 2. アンケート結果

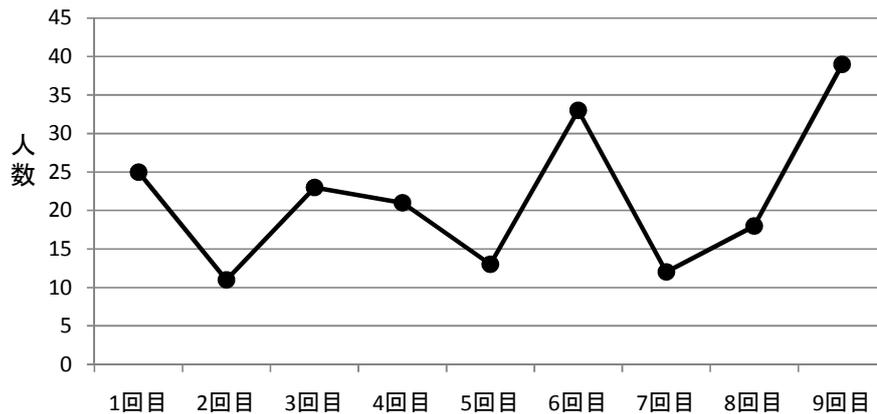
5 段階評価（5. とてもよい 4. よい 3. ふつう 2. わるい 1. とてもわるい）

項目	とてもよい	よい	ふつう
1. 内容は理解できるものでしたか	18	11	10
2. 場所の設定は適当ですか	15	13	11
3. 開始時間は適当ですか	14	15	10
4. 所要時間は適当ですか	15	13	11
5. テーマに関心がそそられましたか	29	7	3
6. 講師は適当でしたか	22	14	3
7. 今後の業務の中で生かすことができますか	23	13	3

### 希望するテーマなどその他のご意見

- ・ 妊娠中や授乳婦の薬は医師も薬剤師もはっきりしたデータで指導がしにくい分野なので、指標となる考え方を教えていただける研修会はとても勉強になりました。
- ・ 授乳のタイミングと母親の薬を服用のタイミングを工夫することで、かなりの薬が服用できることがわかって意外でした。
- ・ 今回のテーマは興味があり、どのように情報を集めるべきかもわからなかったのですが、すごく勉強になりました。すぐにデータをそろえたいと思います。
- ・ 考え方や情報の検索方法について知らなかった Web の方法も教えていただいても勉強になりました。
- ・ 非常に実務に関するテーマで助かりました。ありがとうございます。
- ・ 是非、小児科医師も同席して下さい。
- ・ 婦人科系の薬剤について。
- ・ 一般名処方,ジェネリック薬品へ変更した場合、処方元への連絡を TEL または FAX でしている場合が多いがお薬手帳を活用していくことはできないでしょうか。

保険薬局研修会参加人数



今回の研修会では、妊婦や授乳婦に投与する薬剤の情報の紹介から Web サイトによる情報検索の方法を具体例を挙げて紹介し、妊娠・授乳婦には服用可能な薬剤が案外多いことを薬剤師より説明させていただきました。また、医師からは妊娠中と授乳中の薬剤投与の相談に対する基本的な考え方と薬剤暴露の影響について情報提供をしました。今回は例年よりも多くの保険薬局の薬剤師の方々が参加して下さいったことから、このテーマに関しては日常から窓口の薬剤情報提供に苦慮していることがわかり、病院と保険薬局とがお互いに問題としていたことを研修会を通して共に考えることができ、お互いの距離を縮めることができました。

これからも、保険薬局の先生方のご意見を参考に実のある研修会を企画していきたいと考えております。今後ともご教示を賜りますようお願い申し上げます。